

(様式例) 令和8年度都立板橋有徳高校校定時制課程における教科指導の重点

| 重点科目 | 重点課題 | 取組 | 発展的取組 |
|-------------|---|--|--|
| 国語 | ・語彙指導の充実 ・「書くこと」の指導の充実 | ・語彙を増やすための単元ごとの語彙指導 ・各授業時間、単元ごとの学びの言語化 | 「総合的な探究の時間」をはじめとした他教科における「書くこと」に関する技能の活用 |
| 地理歴史 | 基礎学力の向上と対話を重視した学びの充実 | ・基礎的な内容の定着や生徒の言語学習を充実させる教材研究 ・小テストや振り返り学習の充実 | ・個に応じた指導とグループワークの併用による知識の定着 ・一人一台端末を活用したグループワーク、発表の実施 |
| 公民 | 基礎学力の向上と対話を重視した学びの充実 | ・基礎的な内容の定着や生徒の言語学習を充実させる教材研究 ・小テストや振り返り学習の充実 | ・個に応じた指導とグループワークの併用による知識の定着 ・一人一台端末を活用したグループワーク、発表の実施 |
| 数学 | 粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる | ・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業の実施 | ・学ぶ過程で、様々な工夫や驚き、感動を味わい、数学を学ぶことの面白さや考えることの楽しさを味わうことができるような内容に取り組む。 |
| 理科 | 科学的な考え方・見方を働かせた理科の活動 | 基礎的な理科的な見方・考え方を身に付けるために、義務教育で扱った内容の復習も含めた授業の実施 | 学習した内容を踏まえ、課題に対して個々に理論的な考えが出来る。 |
| 保健体育 | 運動や健康に対する課題の発見 | ・多様なスポーツの実施 ・体力を向上させる授業の実施 ・健康、安全に関する専門的知識の習得 | ・体づくり運動、器械運動、陸上競技、球技、ダンス、体育理論の実施 ・グループワークを取り入れた多角的な授業の実施 ・スマートスクール端末の活用 |
| 芸術 (音楽Ⅰ) | 音楽のよさや美しさを感じ、思いや意図を持って表現や鑑賞する能力を養う。 | ・音楽の多様性について理解する。 ・歌唱、器楽、創作、鑑賞で創意工夫した表現ができるようになる。 ・音楽によって生活や社会を明るく豊かにする態度を養う。 | ・他者との調和を意識して演奏する ・文化的、歴史的背景を理解して楽曲の演奏や鑑賞をする。 ・グローバル化が進展する時代において、音楽を生活や社会の中に取り入れて明るく豊かな生活を送る力を育成する。 |
| 芸術 (美術) | 美術造形活動及び、美術鑑賞の時間を体験することで、自己肯定意識を育む | ・各種画材の体験 ・素描、色彩についての理解 ・様々な技法による表現体験 ・絵画、デザイン、映像メディア表現の作品制作、鑑賞活動 | 創作活動、美術鑑賞を通して美術文化、その時代背景に注目し、美術史の見地からも深く美術の価値を知る気づきとなる授業の実施 |
| 芸術 (書道) | 鑑賞の仕方 基礎用語の理解 | ・書道の基本的な用語・主要作品を鑑賞し、何が書いてあるかを理解する。 ・臨書を通して書の世界を捉える。 ・書道史の基礎・基本を身につける。 | ・用具や用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風を理解する。 |
| 外国語 | ・「話すこと」の指導の充実 | ・[やりとり]授業開始1分間、ペアで会話をする活動を行う。 ・[発表]学期に2回程度パフォーマンステストを実施する。 | ・実際のコミュニケーションの場面を想定したALTとの言語活動。 ・一人一台端末を活用し、Power Point等を用いたプレゼンテーションの実施。 |
| 家庭 | 生活という営みを、総合的に捉えることができるように。生活に関わる文化やつながり、かかわりを再認識し主体的に自らの生活を創造していきけるようにしていく。 | 「グローバル化」と「サステナビリティ」を認識し、サステナビリティを追求できる生活力を持った人間像をめざす。 | 多様な視点を持って、多様な価値観の中から自分の価値観をつくっていきけるように。 |
| 情報 | 「課題解決」につなげる実習の充実 | ・課題解決型実習を多く実施 ・社会課題の解決を題材とした実習教材を導入 ・各単元、グループ(協働学習)による探究的な実習を実施 | ・プログラミングコンテストに参加 ・情報で学ぶ技術の実社会での活用について学習 |
| 商業 | 「社会での実践力」 | ビジネスで使うコンピュータの利用の方法や、様々な実践を通してビジネスマナー等を学ぶ | 日本情報処理検定協会の検定や秘書検定などの導入部分を理解すると共に理解を深める |
| 福祉 | 健全な社会を生きる力を養う活動 | 社会福祉・介護福祉について体系的・系統的に理解できるよう、座学・実習指導を実施 | 車イスやアイマスク体験など、実践的な学習活動を通じた指導を実施 |
| スポーツⅡ | 球技の推進及び発展に向けた多様な関わり | ・体力を高める運動の実施 ・ゴール型、ネット型、バスボール型、ターゲット型の実施 | ・練習方法、試合方法を考えさせる授業の実施 ・スマートスクール端末の活用 |